

回覧

ボランティアステーションだより

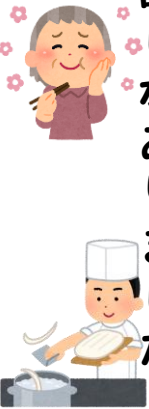
※この通信は勝山地域のボランティア活動や住民活動、社協からのお知らせなどを発信します。

ふれあい・いきいきサロン「下三田食堂」開催！！

男性が中心となって
運営するサロン

今年度から新たに下三田自治会で立ち上がったサロンである「下三田食堂」へお邪魔しました。8月18日(月)午前中に開催され、18名の方が参加されました。「下三田食堂」は、ふれあい・いきいきサロンでは珍しい、男性のスタッフが中心となって活動されており、サロンの呼びかけや当日の運営などをされています。また、サロンの名前に「食堂」とあるように男性の手料理が振る舞われます。当日は、真庭市社会福祉協議会勝山支所、地域包括支援センターの

職員も参加しました。真庭市社協からは、脳のトレーニングとして、サロンでできる間違い探しに取り組んでもらいました。「初級・中級・上級」の難易度で用意し、自分で考えたり、周囲の方と相談したり、楽しみながら取り組んでおられました。地域包括支援センターからは、筋肉量などの運動機能測定をする「ザリツツ」を行いました。測定後の結果をもとに、現在の状態が今後も続くように、サロン・つどいの場に参加して健康に過ごすことが大切とお話がありました。



その後、小豆から仕込んだ「冷やし白玉ぜんざい」と「すいか」を参加者の皆さんでいただきました。話も盛り上がり、男性スタッフの「おもてなし」を楽しそうにされていました。





学生が各々取り組む ボランティア体験

今年度も市内在住の学生を対象に、社協が主催する『夏のボランティア体験』が始まりました。

『夏のボランティア体験』開催

『夏のボランティア体験』とは、7月～8月の夏休み期間に、市内のこども園や高齢者・障がい者・児童施設等の協力をいただき、実施しています。ボランティア活動を通じて、「福祉」についての理解を深め、新しい出会いや発見から「地域」や「ともに生きていく」視点を考えていきます。

参加者は、事前研修会でボランティアについての「心がまえ」を学んだあとに、自分で希望した団体・施設へ行き、ボランティア活動に取り組みます。



ボランティア体験後に、ボランティア体験ノートを活用し、自分が設定した目標がどの程度達成したか、活動中どんなことを感じたか等の感想をまとめます。最後に事後研修会で、体験を通して学んだことや反省点、今後の学校生活で活かそうなことを自分で振り返る時間を作りました。ボランティアをする理由は様々ですが、「将来の夢に向けて、体験したことを活かしていきたい」という感想も多くありました。将来なりたいたいものにおかって頑張つてほしいです。

参加者の感想

・地域福祉の仕組みを知ることができました。介護福祉士は利用者の「命」に責任を持ち、活動していることを学びました。

・福祉がどんなものか簡単に説明できるようになった。住民のわたちが中心となるように社協は活動していることが分かった。

・3日間を通して、子どもが活発であることに一番驚きました。けんかになることが度々あったが、その元気が地域が明るくなると感じました。

「ボランティア体験ノートより抜粋」

ボランティアステーションだよりは共同募金を財源に発行しています。